



飛躍の年に

南魚沼市議会議長 塩谷 寿雄

新年おめでとうございます。市民のみなさまへ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、コロナ禍が続くなかで、社会が変化した一年であったと感じています。一昨年から続くコロナワクチン接種、抗原検査の拡充、新薬の承認など、さまざまな対策を、国を挙げて実施しています。今も第8波の到来で感染が収まらない中、感染症対策を行いながら、以前のような人々が行き交う社会活動に戻すために、着実に前に進んでいると感じています。

そのような中で、昨年は議会では友好都市である江戸川区の区議会議員のみなさまが表敬訪問のため来市してくださり、交流を深めることができました。また、当市主催で中越地区の市議会議員と3年ぶりに一堂に会して研修会を行い、情報交換を行うことができました。コロナ禍で、外出や直接会うことが難しい自粛期間が長く続いていましたが、実際に会って交流することの大切さを改めて感じたところでもあります。

今まで行動を自粛していたこともあり、これからは人の動きが活発になることが予想されます。今冬で第3弾となる「雪恋プレミアム旅行券事業」や8年目となる「本気井キヤ

ンペーン」が、人々の交流を後押しするきっかけとなり、すばらしい出会いや、新たな交流が生まれるまちになるよう、議会としても市の取り組みを応援してまいります。

市外のみなさまとの交流のひとつにふるさと納税があげられます。令和3年度の当市のふるさと納税寄附総額がいに新潟県で第1位となりました。約45億円もの寄附は、大勢のみなさまから南魚沼市を選んでいただき、応援いただいたことによる結果であり、感謝の念に堪えませぬ。市ではこのご寄附を有効に活用し、出生率向上緊急5か年事業「めぐちゃん祝い金」などを実施しています。

当市が市内外から「選ばれるまち」であるためには、市民生活が安心・安全で、住みやすく過ごしやすいまちであることが基本であります。

新ごみ処理施設整備事業は、ようやく一歩前進し、建設予定地を決定することができました。地元のみなさまはもとより、近隣行政区のみなさまのご英断に、心から感謝申し上げます。

病院事業は、市立病院群の改革を進めているところであり、健診施設などの移転や城内診療所の市民病院附属診療所化など、官民を挙げて協

議を進めているところです。議会としても地域にとって大切な病院を、将来に向かってどのように持続させていくべきか、議論を重ねてまいります。

起業・創業支援では、株式会社アルプス技研 創業者 最高顧問の松井利夫様からのご寄附を活用した事業創発拠点「M_uS_uB_iA」が昨年4月にオープンしました。起業支援や伴走支援を行うほか、女性を対象にした起業相談会を行うなど、起業したいという意志が形になるよう、起業者と支援者ともに鋭意努力しています。ぜひ、彼らの活躍を市民のみなさまからも注目いただき、応援していただきたいと思います。

新年の幕開けに際しみなさまも、今年一年の新たな目標や抱負をお持ちのことと思います。その思いを成就するためには、その思いを持ち続け、一歩一歩前進していくことが大切です。日々の前進は小さくても、それを積み重ねることで、着実に成就に近づきます。

今年一年、みなさまとともに前進できる時間を大切にしながら、議会も明るい未来に向けて進んでまいります。